

わが国と世界のキウイフルーツの生産状況

わが国におけるキウイフルーツの生産状況（作物統計調査，令和6年8月公表）を表-1に示した。結果樹面積は1,840haで，収穫量は2万2,100tとなっている。都道府県別の収穫量割合は，愛媛県が21%，福岡県が17%，和歌山県が15%，神奈川県が5%，群馬県が4%と，この5県で全国の約6割を占めている。

キウイフルーツは中国の長江中流域が原産とされるマタタビ科の植物であるが，1930年代にニュージーランドで改良され，商業栽培されるようになった。その名前の由来はニュージーランドの国鳥「キウイ」に姿・形が似ていることから付けられたと言う。わが国では1970年代に生産過剰に陥ったミカンの転作作物として，愛媛県から全国に広まった。栽培のピークは1990年頃で，現在の面積は当時の40%，収穫量は32%となっ

ている。

世界のキウイフルーツの生産状況を表-2に示した。原産地の中国が最も多く，全体の5割を占める。次いで，ニュージーランド（NZ），イタリアが続ぎ，それぞれ12%を占める。わが国は世界の0.5%を占め，12位に位置する。

ビタミンCの豊富なキウイフルーツは，生食をはじめ，加工（ジャム，乾燥品，ゼリー，ワイン）にも使用される。総務省の家計調査（2018年）によると，日本人の果物消費量ランキング9位となっている。品種として，グリーンキウイ（ヘイワード種），ゴールドキウイ（ホート16A種），グリーンキウイ（ニューエメラルド種），レインボーレッドキウイ，香緑，さぬきゴールドがある。（K.O）

表-1 わが国における令和5年産キウイフルーツの収穫量及び結果樹面積

都道府県	全国	愛媛	福岡	和歌山	神奈川	群馬	静岡
収穫量（t）	22,100	4,660	3,850	3,290	1,190	893	786
結果樹面積（ha）	1,840	340	255	163	118	72	98
都道府県	大分	佐賀	栃木	山梨	香川	千葉	
収穫量（t）	709	667	640	636	525	362	
結果樹面積（ha）	51	57	50	53	53	42	

表-2 世界におけるキウイフルーツの生産状況（FAO生産統計，2019年）

国別	世界	中国	NZ	イタリア	イラン	ギリシャ	チリ
収穫量（千t）	4,348	2,197	558	524	344	286	177
結果樹面積（千ha）	269	183	15	25	13	10	8
国別	トルコ	フランス	アメリカ	ポルトガル	スペイン	日本	
収穫量（千t）	64	56	47	32	25	23	
結果樹面積（千ha）	3	4	2	3	2	2	